

第 81 回大分県発明くふう展  
**作 品 説 明 書**

記入不要

【作品名】

炭酸飲料の吹き出し抑制装置(車内用)

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、くふうした点、苦労した点など)

昨年家族と一緒に車内で花見をする際に、持参した炭酸飲料水の蓋をあけたときに炭酸飲料が吹き出し車にこぼれたという失敗からこの装置をつくることを思いつきました。

※ 炭酸飲料が噴き出す仕組みは、炭酸飲料が入った容器の内側の表面に二酸化炭素が付着し、蓋をあけたときにその無数の泡がくっつきあって大きくなり液体を押し上げることが原因とされています。

よって、中身が噴出さないようにするには容器の内側に付着している二酸化炭素の泡を取り除く必要があります。泡を取り除くためには外側から弱い衝撃もしくは振動を容器の側面全体に与えるか、容器を転がし、泡を取り除く事が有効です。

この装置では、容器の外側に弱い衝撃をあたえて、容器の内側についた気泡を取り除き炭酸飲料の吹き出しを防ぐことができます。

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)

- ① 炭酸飲料の容器を装置に差し込みます。
- ② 装置の奥まで炭酸飲料の容器が入っているか確認します。
- ③ 装置の【開始】ボタンを押します。
- ④ 40秒程度放置します。
- ⑤ 40秒程度たったら、装置の【停止】ボタンを押します。
- ⑥ 装置から炭酸飲料の容器を抜き取ります。
- ⑦ 装置が濡れていないか確認します。

※濡れていた場合はタオルなどの柔らかい布で軽く拭き上げてください。

◆作品制作者◆

学校名	大分県立国東高等学校 (1 年)	氏名	衛藤晃生
学校名	大分県立国東高等学校 (2 年)	氏名	森 優幸
学校名	大分県立国東高等学校 (2 年)	氏名	栗林 翔津希

※ 「作品説明書」は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送または FAX にて提出ください。

※ 植物・動物・食品等の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。